

## 背景

- 若年層（10代及び20台前半）の投票率が極めて低い状況。  
※R4参院選における神戸市内の20歳男性の投票率：23.1%（全世代で最低）

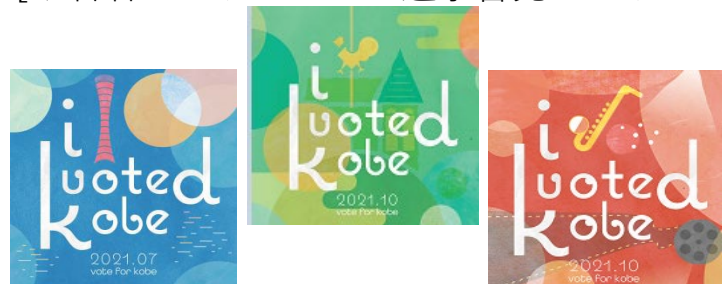
## 事業の概要

- 「LOVE・VOTE・KOBE～若者と市会議員との交流会～」の開催（令和2年度）  
若者の有志団体の協力を得て、市会議員と若者との交流会を実施。  
高校生を含む26名の若者が参加
- 大学生による選挙啓発イベント等の企画・実施  
神戸大学の学生が選挙の仕組み等を解説した選挙啓発資料（Go To Elect）を作成し、講義の中で下級生に説明。また、模擬投票を含むイベントを自ら企画・実施（令和4年度～）。
- 若者のデザインによる選挙啓発物資の作成  
新18歳の若者へのダイレクトメールや選挙啓発ステッカー等を若者がデザイン（令和3年度～）。
- 選挙事務従事者への若者の積極的な登用  
・大学生等を期日前投票所や投票所の選挙事務従事者として特別枠を設けて採用（平成27年度～）。  
・選挙事務従事者を市立高校生にも対象を拡大（令和5年度～）。
- 明るい選挙推進協議会の委員に若者を委嘱  
神戸市明るい選挙推進協議会の委員に、神戸大学の学生等（令和3年度～）を委嘱。

[▼若者と市会議員との交流会の様子]



[▼若者がデザインした選挙啓発ステッカー]



## 工夫・注意点

- 若者の発想を生かしたインパクトのある企画が実現しやすい環境を創出するため、選挙管理委員会は、あくまで裏方としてサポートすることに徹した。

## 事業の効果・今後の展開

- これまでの取組の結果、選挙管理委員会に対して、若者の側から自主的に企画を提案してもらえるような良好な関係が構築できている。
- 市立高校生・大学生による投開票事務は非常に好評であったため、対象を県立高校等にまで拡大する予定。